



未来に自己実現を図るための「学び方の変化」

9月30日(木)まで発令されていましたが緊急事態宣言も本日から解除されました。宣言期間中、保護者の皆様には検温や手洗いの励行、マスク着用への声掛けなど、子どもたちが学校生活を有意義に送れるよう健康管理に努めていただき、誠にありがとうございました。引き続きの感染症対策へのご協力をお願いいたします。

さて、国の「GIGA スクール構想」を受けて、2月にタブレット端末が1人に1台貸与されました。令和の時代に生きる子どもたちにとって、タブレット端末は鉛筆やノート、教科書と並ぶマストアイテムとなります。今や仕事でも家庭でも社会のあらゆる場所でコンピュータやタブレット端末などのICT機器の活用が日常的なものになっています。子どもたちが社会人として働く時代には技術革新が進み、ICT機器を巧みに活用して仕事をするのが必須になると考えます。

そのためには、自分に合った学習方法の一つとしてICT機器を活用する力を身に付けることが大切です。今までは分からないことがあれば辞典や図鑑などで調べたり、漢字や計算方法の習得にあたってはノートに繰り返し練習をしたりして学習していました。しかし、令和の時代ではタブレット端末のようなICT機器を活用することで、資料の検索をしたり動画や写真を観たりして学習内容を理解していきます。また、漢字や計算学習もタブレットドリルを活用することで、意欲的に楽しみながら学ぶことができるようになります。

2年生の国語科の学習で「どうぶつ園のじゅうい」という教材があります。筆者は、獣医さんの仕事を「いつ」「仕事内容」「仕事内容の理由」「工夫点」と観点を決めて読み手に分かりやすく伝えようとしています。学習活動では、この文書構成の書き方を学ばせて、自分が情報発信するときに活用できるようにすることが、この学習の目標となります。そこで、単元目標を「学校に一人しかいない先生の仕事を分かりやすく1年生にしようかしよう」としてタブレット端末にある「PowerPoint」を活用し、学校の先生の仕事をスライドごとに「いつ」「仕事内容」「工夫点」などにまとめるようにしました。そして、タブレット端末を活用して1年生に発表しました。

従来までならば、画用紙に学習内容を書いて発表していた学び方から、タブレット端末を活用する学び方に変化し、動画や写真を取り入れながら分かりやすく自分の考え方を発表できるようになり、子どもたちの意欲を高める学習方法を行うことができるようになりました。

もう一つ「学び方」について変化していることがあります。タブレット端末でオンライン学習を行うことで交流を図り、多様な価値観にふれさせる機会を多く取ることができるようになったことです。

本校では多様な価値観を育むために、自然学校(5年生)や修学旅行(6年生)で、口吉川小学校の子どもたちといっしょに体験学習を行います。当日の学習を有意義なものにするために事前学習としてタブレット端末を用いてオンライン学習を実施しています。お互いのことをよく知るために学校紹介のクイズやゲームをしました。その後、自然学校のテーマ「進学皆協」(進んで学び、皆で協力する自然学校)について話し合いをしました。オンライン学習により相手の声を聞き、表情を確認しながら会話することが可能になり、多様な価値観にふれるための第一歩になると実感しました。



オンライン学習の様子(5年生)

このように、「学び方」が変化し始めて、従来までとは違った学習方法になってきました。そのためにはICT機器の操作方法やタブレット端末のアプリケーションの使用方法を学んでいかなければなりません。従来まで行ってきた学校行事での取組も少しずつ変えていくことが必要になっていくと考えます。

学校長 善村 龍昭